地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	広島県	事業実施主体	広島県、大竹市	地域再生計画名	広島港の歴史遺産と海の幸を世界に向けて発信するみなとづくり計画
計画期間	令和4年度～令和10年度	評価責任者	広島県土木建築局　港湾漁港整備課長、大竹市建設部　土木課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況

地域再生計画の目標		基準値	基準年度	中間目標値	年度	中間実績	最終目標値	基準年度	中間評価	達成状況 指標総数	達成状況 達成数	中間目標値の実現状況に関する評価
目標１	世界遺産宮島の来島者数の増加	2,209千人	R3	2,937千人	R7	4,967千人	3,387千人	R10	○	2	2	中間目標は達成できている。
目標２	大竹市、廿日市市の観光客数の増加	4,051千人	R3	5,387千人	R7	9,410千人	6,212千人	R10	○			中間目標は達成できている。

②事業の進捗状況

	事業名	整備量（その他の事業では取組内容） 計画	中間年度（R7）	最終実績見込み	事業の進捗状況に関する評価
特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業　外郭施設 係留施設 臨港交通施設 港湾環境整備施設	70m 10基 1840m 11,230m2	0m 2基 500m 5,172m2 （予算換算）	70m 10基 1840m 11,230m2	計画通りに進捗しているため、施設整備の早期完成と効果の発現を目指し、引き続き事業推進を図る。
特別措置を適用して行う事業	漁港整備事業　係留施設	1基	0.1基 （予算換算）	1基	計画通りに進捗しているため、施設整備の早期完成と効果の発現を目指し、引き続き事業推進を図る。
その他の事業	瀬戸内　海の道構想	瀬戸内の魅力を世界に発信し、瀬戸内の認知度とブランド力を高め、国内外からの誘客増大を目指すことで、地域の再生を図っていく取組を実施。			地方創生の実現に向けて、国内外からの多くの観光客を誘致するべく、瀬戸内の魅力の国内外へのプロモーションや受入環境の整備、地域産品の開発誘導等、官民が連携しながら、瀬戸内ブランドの確立に取り組んでいる。
その他の事業	瀬戸内クルージング促進事業	「瀬戸内海クルージングポータルサイト」を運営し、今までにない形の新たな観光需要の掘り起こしを実施。			県内のビジター桟橋や横浜ボートショー等でのクルージングアンケート結果等の情報発信を行っており、県内におけるプレジャーボートの利用促進を図っている。
その他の事業	宮島口地区周辺渋滞対策事業	観光シーズン等の慢性的な渋滞に対応するため、交通誘導員の配置やパーク＆ライド、駐車場満空情報案内などのソフト対策を実施。			観光シーズンにおける交通誘導員の配置、パーク＆ライドの推進、駐車場満空情報案内などを実施しているが、渋滞解消には至っていない。このため令和5年度から広島岩国道路料金割引施策社会実験や、令和8年度から大型LEDビジョンによる周辺駐車場の位置や混雑情報の可視化に取り組んでいる。
その他の事業	廿日市市道　赤崎３号線・１４号線改良事業	宮島口地区まちづくりグランドデザインの基本理念「世界遺産・宮島の玄関口として、宮島口地区の交通円滑化などを図る市道の改良を実施。			主要アクセス軸である2路線について、市道赤崎14号線はJR宮島口駅北側の東西方向を結ぶアクセス道路として、令和6年度にロータリーから駐車場へつながる区間の整備が完了し、市道赤崎3号線はJR宮島口駅南側の東西方向を結ぶアクセス道路として、令和7年に4車線化暫定供用をするとともに、国の方で国道2号交差点改良の整備を進めている。
その他の事業	宮島口立体駐車場整備事業	旅客ターミナル等の利用者の駐車スペース確保及び宮島口周辺の渋滞緩和のため、立体駐車場の整備を実施。			広島電鉄株式会社と共同で運営する自走式立体駐車場の整備を行い、令和5年3月1日から供用開始している。
その他の事業	地域公共交通確保維持改善事業	離島住民にとって日常生活に必要不可欠な交通手段である広島県内７航路を対象とし、生活の安定及び向上に資するため、事業を実施。			阿多田～小方航路に欠航は生じておらず、年間運航回数の現状を維持している。猛暑により、夏場の集客が減少傾向にあるため、港でのイベントを企画し、少しでも利用者を増やす取り組みを実施し、さらに、SNSでの継続的な情報発信や御船印のPR活動を通じて、年間を通して離島住民以外の方にも利用してもらうことを目指している。
その他の事業	あたた愛ランドで釣り大会	広島県内でも有数の養殖・漁業を誇るほか、恵まれた釣り場を持つ阿多田島の魅力発信の取組を実施。			イワシ漁やハマチ、牡蠣養殖が盛んな漁業の島である阿多田島の魅力を発見・体験してもらうため、チャーター船上から漁やハマチ養殖を見学・体験してもらうほか、島内の水産物加工場の見学や阿多田島散策のイベントを実施している。また、阿多田島漁業者主催の釣り大会を実施し、阿多田島の魅力発信に取り組み、阿多田漁港（定期航路）の利用促進を図っている。
その他の事業	中西部における水産環境整備事業	増殖場の整備により魚介類の稚仔魚育成の場となる藻場を造成し飼料環境や生息環境を改善することで水産資源の増大や漁獲量の増加を図る。			令和6年から海底耕うんと底質改善剤（かき殻）の散布を実施し、底質改善を図っている。
計画外で独自に実施した事業	該当なし				

③評価方法

関係部署で目標値の実施状況に関する評価・検討を行い、学識経験者に説明し、意見徴収した結果を踏まえ、計画全体の評価および今後の方針とした。

④中間評価の公表方法

広島県ホームページ、大竹市ホームページ

⑤計画全体の総合評価

本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に行うことにより、地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりと、県西部における水産業の活性化および島しょ部における安心を支える生活環境づくりを行い、これらを観光等と連携させることで、世界遺産宮島の来島者数の増加および大竹市・廿日市市の観光客数の増加を図り、地域の再生を図ることを目的としている。　目標１、２ともに中間目標は達成できており、確実な目標達成に向けて、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。

⑥今後の方針等

中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
地域再生計画の見直し（　有　・　(無)　）	
令和９年度予算要望額への反映（　有　・　(無)　） 有りの場合の増減額　　千円	

⑦今後の方針等に対する対応